広報つしま年末恒例「広報紙で見る2017年の出来事」

～掲載記事からあんなこと、こんなことを振り返ります。～

平成28年 12月

○師走の対馬路13区間で襷をつなぐ「第56回対馬縦断駅伝大会」（優勝は、町体協の部：豊玉町　団体の部：陸上自衛隊　女子の部：美津島町）

○「子どもは地域の宝」15年間活動を続ける「地域で子育てを楽しむ会」が文部科学大臣表彰受賞

平成29年 1月

○対馬市成人式に280人が出席。対馬活性化ユニット「ずんだれ」のステージで新成人にエール！ ①

○相川七瀬さんもメッセージ。赤米フォーラムin九州国立博物館

2月

○佐護ヤマネコ稲作研究会が日本自然保護大賞受賞 ②

○県中学駅伝新人合同記録会女子の部で雞知中学校が優勝

○「キャッチボールは基本」元日本代表監督小島啓民（ひろたみ）氏による野球教室と講演会 ③

3月

○厳原歯科診療所山本正俊氏が日本歯科医師会会員「有功章」を受章

○対馬・壱岐の高校吹奏楽部が4校合同で出演し、対馬市交流センターでSpringジョイントコンサート ④

4月

○有人国境離島法施行。船・飛行機の運賃引き下げ、各種補助事業開始 ⑤

○対馬市立比田勝こども園が開園し、97人の園児が入園 ⑥

○対州馬の優香号（13歳雌）が、シダックス中伊豆ワイナリーヒルズ株式会社にモデル的に貸与され、伊豆で対州馬の普及啓発活動!

○第61回全日本銃剣道優勝大会で陸上自衛隊対馬駐屯地チームが16年ぶりの優勝 ⑦

5月

○対馬市議会議員一般選挙に24人が立候補19人の代表が決定

○厳原町小茂田の吉田永（ひさし）さんが第57回長崎県乾しいたけ品評会で農林水産大臣賞、林野庁長官賞のダブル受賞 ⑧

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

6月

- ○全農乾椎茸品評会で厳原町豆酘の永尾賢一さん・靖子さん夫妻が2度目となる最高位の農林水産大臣賞を受賞 ⑨
- ○第45回韓国語弁論大会で対馬高校普通科国際文化交流コースの三原海子（みこ）さんが最優秀賞、増田菜々子さんが優秀賞・特別激励賞、白石舞音（まね）さんが激励賞を受賞 ⑩
- ○厳原町の歌人平山三智子さんが、日本芸術遺産認定名誉作家に認定 ⑪
- ○峰総合運動公園陸上競技場が全天候型に整備。こけら落としは対馬市中学校総合体育大会

7月

- ○対馬市と「対馬の希少植物保全」に係る連携協定を締結している県立諫早農業高校から寄贈されたオウゴンオニユリが開花
- ○長崎県中学校総合体育大会　剣道女子個人の部で平山詩菜（しいな）さん（東部中）、陸上競技女子砲丸投で俵芹菜（せりな）さん（雞知中）が優勝 ⑫

8月

- ○「高校生版島おこし実践塾」を厳原町の内山・豆酘・久根田舎地区で初開催 ⑬
- ○対馬市子ども議会を開催。市内13の中学校から26人が出席し市長に質問 ⑭
- ○国内で38年ぶりとなる野生のカワウソを確認 ⑮
- ○対馬藩の飛び地だった鳥栖市で市民劇団「漁火」によるミュージカル『対馬物語』上演

9月

- ○国の特別史跡金田城跡が築造1350年を迎え記念イベントを開催 ⑯
- ○博多駅前広場で「対馬屋台村」開催。もちまきや特産品販売などで対馬をPR

10月

- ○朝鮮通信使の関連資料がユネスコ記憶遺産に登録 ⑰
- ○峰町歴史民俗資料館で「対馬の遺宝　里帰り展」を開催。1ヵ月で2,000人を超える来館 ⑱
- ○第48回ジュニアオリンピックの砲丸投に出場した雞知中学校の俵芹奈（せりな）さんが全国2位の快挙

11月

- ○比田勝港から厳原町やぐら門まで対馬縦断100kmの道のりを激走。「国境サイクリングIN対馬」を初開催
- ○上県町佐護の井口浜海岸で日韓総勢180人が参加して清掃活動。「2017日韓市民ビーチクリーンアップ」

取材では、皆様のご協力をいただきありがとうございました。
2018年もよろしくお願いします。皆様よいお年をお迎えください。

⑩

左から白石さん三原さん増田さん

⑪

⑫

平山さん

俵さん

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

朝鮮国信使絵巻：長崎県立対馬歴史民俗資料館蔵

⑱

「朝鮮通信使」

－ユネスコ記憶遺産登録への軌跡－

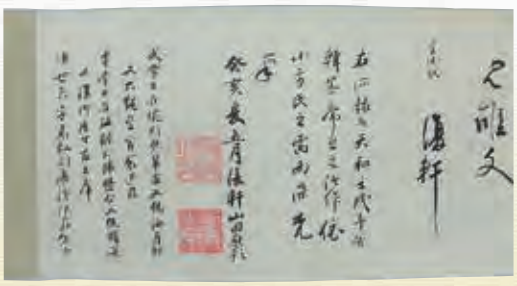
10月31日、「朝鮮通信使に関する記録－17世紀～19世紀の日韓の平和構築と文化交流の歴史」がユネスコ記憶遺産に登録されました。登録された資料は、111件333点（日本側48件209点、韓国側63件124点）。市内には、4件5点が所蔵されています。今回の特集は、ユネスコ記憶遺産登録への軌跡を追います。

朝鮮国書（東京国立博物館蔵）

雨森芳洲肖像
（高月観音の里歴史民俗資料館蔵）

馬上才図巻（松原一征 氏 所蔵）

朝鮮通信使詩稿
（大韓民国立海洋博物館蔵）



朝鮮通信使酬唱詩
（大韓民国立海洋博物館蔵）

登録資料の詳細は、NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会のホームページからご覧ください。

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
http://enchiren.com
善隣友好の道

朝鮮通信使とは？

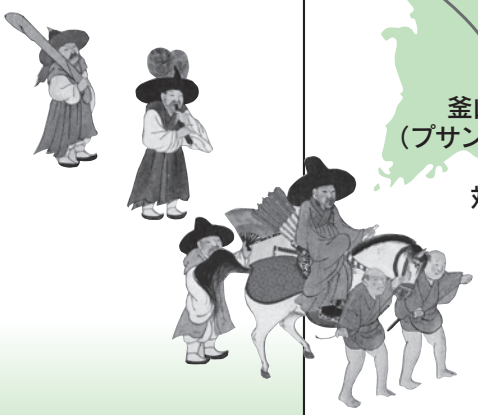
朝鮮通信使は、室町時代から江戸時代にかけて朝鮮国が日本に派遣した外交使節団です。豊臣秀吉の朝鮮出兵で一旦は途絶えてしまいますが、徳川家康の命を受けた対馬藩による粘り強い交渉の末、1607年に朝鮮通信使が復活し、これにより両国の国交が回復します。以来1811年まで約200年の間、日本と朝鮮国は隣国として戦争のない平和な時代を過ごしたのです。

朝鮮通信使は、両国の平和的な関係を構築し維持させることに大きく貢献しました。朝鮮通信使が両国の人々の憎しみや誤解を解き、相互理解を深めたことにより、両国は外交のみならず学術・芸術・産業・文化などさまざまな分野において活発に交流することができたのです。その根底には対馬藩藩儒雨森芳洲が説いた「互いに欺かず、争わず、事実をもって交わることこそ、誠信である」という誠意と真義を重んじた「誠信交隣」の精神が流れていたのです。

対馬藩初代藩主　宗　義智（よしとし）

徳川家康の命を受け、文禄・慶長の役で悪化した日朝関係を修復し、その証たる朝鮮通信使の派遣を朝鮮国に求めた。しかし、条件の一つに、家康国書を先に送ることが提示されており、当時の慣習では、先に国書を送る行為は、臣従することを意味しているなどの理由から、幕府は認めなかった。

島内経済を再生するためには、貿易再開が不可欠であったことから、一刻も早い国交回復を実現するため、露見すれば大罪となることを承知しながらも、家康国書を偽造し両国の仲を取り持った。



朝鮮通信使（江戸時代）の歴史

対馬藩：義智（よしとし）／義成（よしなり）／義真（よしざね）／義倫（よしつぐ）

- 1606 ○家康国書を偽造
- 1607 ○家康から国交回復を命じられる
- 1607 ○回答兼刷還使来日（第一回朝鮮通信使）※①
- 1617 ○回答兼刷還使来日（第二回朝鮮通信使）
- 1624 ○回答兼刷還使来日（第三回朝鮮通信使：家光の将軍襲職祝賀）
- 1636 ○第四回朝鮮通信使（初めて朝鮮通信使の名称となる）
- 1643 ○第五回朝鮮通信使（家綱誕生祝賀）「嗣子祝賀の通信使派遣を要請」前例のない派遣の決定
- 1655 ○第六回朝鮮通信使来日（家綱の将軍襲職祝賀）釜山出航後、大時化となり舵の破損、浸水は人の身長ほどに達する
- 1678 ○草梁（現釜山）へ倭館を移転※②
- 1682 ○第七回朝鮮通信使来日（綱吉の将軍襲職祝賀）

日本・対馬の主な歴史

江戸幕府：家康／秀忠／家光／家綱／綱吉

- 1603 ○家康が将軍に任ぜられ江戸に幕府を開く
- 1609 ○己酉約条が締結され、交易が再開される
- 1615 ○大坂夏の陣で豊臣家滅ぶ
- 1633 ○藩主義成と柳川調興の間で御家騒動となる（柳川一件）※④
- 1635 ○鎖国令
- 1635 ○参勤交代制度の制定（対馬藩は三年に一回の参勤）
- 1635 ○柳川一件終結
- 1637 ○島原の乱
- 1650 ○佐須の銀山開発
- 1657 ○陶山訥庵生まれる※⑤
- 1659 ○阿須川の開削着工
- 1660 ○桟原屋形の造営に着手
- 1663 ○お船江を築造
- 1669 ○金石屋形に櫓などが整備され金石城と称す
- 1672 ○大船越瀬戸を開削
- 1672 ○佐須奈に関所を開設
- 1685 ○宮谷に藩校「小学校」を設立
- 1689 ○生類憐れみの令発布
- 1689 ○雨森芳洲、対馬の儒学者として仕える※⑥
- 1700 ○陶山訥庵の建議による「猪鹿追詰」始まる

※① 回答兼刷還使（かいとうけんさっかんし）
1607年の使節は、対馬藩が偽造した家康国書への返書を持参する使節であり、また、日本国内にいた朝鮮人俘虜を本国へ送還する目的を持っていたことから、「回答兼刷還使」と命名された。

※② 草梁倭館（そうりょうわかん）
それまでの倭館があった豆毛浦（つもうら）は、遠浅で手狭という停泊に不便な港だったことから、交渉の末、1678年に同じ釜山で条件の良い草梁へ倭館を移転した。草梁倭館は、東西約810m、南北約450m、総石垣造り。その面積は長崎出島の25倍もあった。

※③ 易地聘礼（えきちへいれい）
老中松平定信が行った寛政の改革では、緊縮財政政策が採用され、莫大な費用を要する朝鮮通信使の来聘は延期されていた。そこで幕府は、使節を江戸までは呼ばずに対馬に幕府役人を派遣し、国書の交換などの儀礼をすませたものである。

義方（よしみち）　義誠（よしのぶ）　方熙（みちひろ）　義如（よしゆき）　義蕃（よしあり）　義暢（よしなが）　義功（よしかつ）

1703　○朝鮮国訳官使船、鰐浦沖で遭難　乗員百十二名全員死亡

1711　○第八回朝鮮通信使来日（家宣の将軍襲職祝賀）

1719　○第九回朝鮮通信使来日（吉宗の将軍襲職祝賀）
・府中（西山寺）で異例の国書交換
・白石の改革による国王号問題が起こる

1748　○第十回朝鮮通信使来日（家重の将軍襲職祝賀）

1764　○第十一回朝鮮通信使来日（家治の将軍襲職祝賀）
この通信使の時、サツマイモを佐須奈から送る

1811　○第十二回朝鮮通信使来島（家斉の将軍襲職祝賀）「易地聘礼」※③
五月二十二日、桟原屋形で朝鮮国書の伝達　二十六日、日本国書の受け渡し

家宣　家継　吉宗　家重　家治　家斉

1710　○赤穂浪士四十七士討ち入り

1715　○原田三郎右衛門が甘藷の栽培に成功※⑦

1716　○享保の改革

1725　○志賀の鼻にて、志賀窯が開窯される

1730　○対馬で震度五強程度の地震が発生

1732　○享保の大飢饉が発生
○同年再度大火一一五八戸焼失
○府中（現厳原）での大火災発生一二一九戸焼失

1774　○解体新書（杉田玄白）

1782　○天命の大飢饉

1787　○寛政の改革

※⑤　陶山訥庵（とつあん）

1657年、府中（現厳原）の生まれ。家は代々儒医であった。11歳の時に江戸の木下順庵門下となる。さらに、奈良・京都などで学んだ後、対馬に戻り、1685年、藩命で『宗氏家譜』の編纂にあたる。一方、芳洲らとともに朝鮮との交渉にもあたっており、郡奉行に任ぜられると農政に尽力し、様々な著書を残している。また、生類憐れみの令が出される時勢にあって「猪鹿追詰」を実行し、農村復興に努めた。

※⑥　雨森芳洲

1676年、近江国高月村（現滋賀県長浜市）の生まれ。18歳の時、江戸の木下順庵門下となる。22歳で対馬藩に仕官し、中国語・朝鮮語を身につけ、第8回、第9回の朝鮮通信使来聘時には真文役（外交文書を取り扱う役人）として尽力した。前例を重視する朝鮮の外交姿勢から記録の重要性に着目し、十分な情報と知識を以て「互いに欺かず、争わず」の姿勢で外交に望むよう、後進の指導にも心血を注いだ。

※④　柳川一件（しげおき）

対馬藩重臣柳川調興が、対馬藩で行われていた国書の偽造、改ざんを暴露した事件。調興は宗氏を改易に追い込み、自身は幕臣になろうと画策した。1635年、将軍家光自身が裁きを下し、藩主義成の勝訴、調興が敗訴となり津軽へ流罪となった。

なお、一件後、不正防止のため京都五山の僧が西山寺に輪番で派遣され、外交文書の取扱いを行う制度が整えられた。

※⑦　原田三郎右衛門（さぶろうえもん）と孝行芋

対馬藩の記録では、1714年に長崎から「琉球芋1300個」を購入して、全島へ植付けを行ったが失敗し、翌年久原の三郎右衛門が植付けに成功したことから、彼に全島へ栽培指導をさせたところ、同年16年には「大いに植付けに成功した。」という記録が残っている。

伝記では「三郎右衛門が薩摩に潜入、種芋を持ち帰り植付けに成功した。」とある。いずれにしても彼なしに、対馬の薩摩芋文化は成立しえなかったことになり、飢饉の際の食糧として餓死者を出さなかった「孝行芋」を普及させた功績は大きい。ちなみに、孝行芋という呼び方は、生産が成功した1716年から僅か6年後に陶山訥庵が記した『老農類語』に見られることから、飢饉に強い食糧としての効果は絶大だったことが伺える。

登録までの流れ

はじまりは厳原町の衣料品店

厳原町今屋敷在住、庄野伸十郎氏は「以前は朝鮮通信使という名前を韓国で言っても、それはなんですか？と言われていた。」と話されます。このことからもわかるように、日本国内はもとより、韓国においても歴史に埋もれたものとなっていました。

対馬市における朝鮮通信使の取り組みは、昭和46年に伸十郎氏の父、故 庄野晃三朗氏が、経営する衣料品店の従業員に厳原港まつりの仮装行列への参加を促し、約10人の女性が韓服仮装で参加したことに端を発します。

昭和53年には「李朝通信使行列」として仮装行列に参加し、昭和55年に李朝通信使行列振興会を立ち上げました。

その後、伸十郎氏が会長に就任し、さらに発展を続け、李朝通信使行列振興会は平成元年に朝鮮通信使行列振興会と改名し、現在に至ります。

昭和53年の行列再現の様子

縁地連絡協議会の発足

平成7年、国内外の朝鮮通信使ゆかりの地をつなぐ団体「朝鮮通信使縁地連絡協議会」が発足、松原一征氏が会長に就任し、日本各地に朝鮮通信使行列再現を含む日韓交流事業が展開されていきます。また、韓国側でも財団法人釜山文化財団（当初は社団法人朝鮮通信使文化事業会）による朝鮮通信使行列再現が始まったことから朝鮮通信使行列振興会、朝鮮通信使縁地連絡協議会も協力を行ってきました。

ユネスコ記憶遺産登録に向けて

平成22年、朝鮮通信使に関する資料をユネスコ記憶遺産への登録に向け機運が高まり、日韓の民間団体、朝鮮通信使縁地連絡協議会と財団法人釜山文化財団において共同申請を行うことが決定されました。

朝鮮通信使縁地連絡協議会内に、ユネスコ記憶遺産登録を推進する部会として、日本推進部会を設置（対馬市もこの一員）、登録資料の選定等学術的な見地をもたらす機関として日本学術委員会の設置を行い、登録申請を推進しました。学術委員には、各地の有識者に加え、対馬市からは、対馬の歴史に造詣が深い、市文化財保護審議委員会会長の斎藤弘征氏にも就任いただいています。それぞれの部会の会合を重ねつつ、さらに韓国側との協議を重ね、平成28年3月30日、ユネスコに向けて申請書を提出しました。

悲願達成！

平成28年から、国内向けPRイベントやパリにおける日韓共同PRイベントを経て今年10月31日、ついに朝鮮通信使関連資料のユネスコ記憶遺産登録が決定しました。このように、今回のユネスコ記憶遺産登録は、対馬市にある「NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会」「朝鮮通信使行列振興会」2つの団体が長年にわたり活動を続けた大きな成果であり、悲願が叶ったものであります。

朝鮮通信使の名を全国、全世界に発信したい

NPO法人朝鮮通信使
縁地連絡協議会
松原一征 理事長

朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録は、NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会及び財団法人釜山文化財団、朝鮮通信使関連事業関係者の皆様の悲願といえるものです。

古来より、日韓関係が悪化した後、関係修復に際して朝鮮通信使が派遣されており、倭寇・文禄慶長の役それぞれのあとに朝鮮通信使が派遣され、その後約200年間の平和が訪れています。

今回は太平洋戦争から現在まで、悪化した日韓関係を修復するものとして、私たちはまさに現代の通信使となり、200年といわず恒久的な平和をもたらすための使者となりたいと考えています。

この登録を契機に今後、朝鮮通信使ゆかりの地の連携をますます深め、朝鮮通信使の名を全国、全世界に発信したいと考えています。

対馬市の多大なるご支援、ご協力に深く感謝いたします。

これからは未来の記録を準備しよう

朝鮮通信使ユネスコ記録遺産
韓国側学術委員会
姜南周（カン・ナムジュ） 委員長
（対馬市国際諮問大使）

うれしい。念願だった対馬と釜山の朝鮮通信使記録物のユネスコ記憶遺産として登録が実現されました。特に、登録に向けて惜しまぬご尽力を頂いた日本側の松原一征委員長には、その献身的な努力に敬意を表します。さらに、比田勝尚喜市長の行政的な支援がなかったら今回の登録は不可能ではなかったか、と思いに至り、お二人のご尽力には頭が下がります。

しかし、いつまでもこのお祭り気分で浮かれているわけにはいきません。日韓関係では、まだまだ残されている課題が多く、その山を乗り越えるために、私たちがやるべきことは何か。それは朝鮮通信使の精神、その初心に戻るべきであります。旧怨を越え、善隣友好の精神を尊崇した朝鮮通信使の精神を引き継がなければなりません。そのためには、韓国と日本が協力し登録させた遺産を新しい世代への教科書にするべきだと思います。

よろこびの声

本校の学習発表会で「宗義智」の劇をし、日韓友好のために対馬が重要な役割を果たしたことを学びました。対馬の子どもたちに「信頼を通じる使者」である未来の「通信使」として、今後も隣国との友好関係を築いてほしいと思います。

厳原中学校3年主任　中島法子 先生

ユネスコ記憶遺産登録おめでとうございます。

11月14日に朝鮮通信使の行列再現を学習発表会で披露しました。生徒たちも郷土の歴史に直に触れることができ、深い学びにつながりました。今後も素晴らしい歴史に対馬の子どもたちが関わって欲しいと思います。

豊玉中学校1年担任　浦田まゆ 先生

朝鮮通信使行列振興会
稲田充 会長

昭和55年の発足以来、朝鮮通信使行列の再現という形で発信を行ってきた当会としても大変名誉なことであると感じています。

2月25日にはこの登録の祝賀イベントが予定されており、またみなさんに勇壮な行列再現を披露したいと考えています。皆様のご協力とあたたかいご声援をお願いいたします。

朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録おめでとうございます。

あらためてこの対馬の壮大な歴史を感じました。

善隣友好に尽くした日韓の先人たちのように、我々も更なる互恵関係を築いていけたらと思います。

（一財）対馬市国際交流協会
今村純一 副会長

問い合わせ／NPO法人 朝鮮通信使縁地連絡協議会事務局（文化交流・自然共生課内）　☎0920(53)6111

まちの話題

11/19 対馬縦断100km サイクリング

—国境サイクリングIN対馬—

初開催であるこの大会には51人（日本50人・韓国1人）が出走しました。比田勝港国内ターミナル前を午前8時にスタートした選手は、3つのチェックポイントを制限時間内に通過し、午後4時までに厳原町のやぐら門までの100kmの道のりを激走。比田勝港のスタート時には寒風吹き荒れる中、上対馬太鼓保存会対馬愛鼓連の子ども達が演奏を行い、選手達を激励しました。チェックポイントのエイドステーションでは、かすまきやとんちゃん丼、佐賀のたいやきなどが振る舞われ、選手達を対馬の食材でもてなしました。

11/4 対州馬を身近に!!

—1日対州馬祭り—

上県町の目保呂ダム馬事公園で行われたこのイベントでは、仔馬2頭の命名式や対州馬レース・流鏑馬（やぶさめ）体験や乗馬体験などが行われました。訪れた観客は、対州馬と身近に触れ合い、日頃体験できない1日を過ごしました。

11/5 豊玉町から地産地消を発信

—いきいき豊玉まつり—

豊玉文化会館駐車場で行われたこのイベントは、地元野菜・鮮魚の即売会や魚のつかみどり・マグロ解体ショー・いきいき健康相談など多彩なイベントが満載。多くの市民が詰めかけ、会場は大いに盛り上がりました。

Photo News

11/12 未来に残そう 青い海

上県町佐護の井口浜海岸で「2017日韓市民ビーチクリーンアップ」海岸清掃活動が行われました。一般ボランティアと高校生、釜山外国語大学校の学生約80人を含む、総勢約180人が参加し、砂浜をきれいにしました。

11/2～11/10 祝２０周年 写真で国際交流

今年で20回目を迎え、韓国釜山で開催された国際写真交流展は、平成10年の壱岐対馬国定公園指定30周年記念行事に併せて開催した対馬釜山写真交流展が始まりです。会場では、韓国・中国・アメリカの写真家や来場者との意見交換など、写真を通じた国際交流を行いました。

11/19 金田城の謎を解け！ 特別史跡金田城跡築造1350年記念イベント

古代山城で繋がる佐賀県基山町の小中学生を含む30人と市内参加者約60人が、各ポイントで金田城・基肄城（基山町）の問題を解きながら、城内を巡りました。三ノ城戸（城門跡）・石塁・土塁などを間近に見ながら防人が守り通った道を歩きました。

11/23 “芋” 掘ったどー!!

厳原町下原の体験であい塾「匠」の駐車場で「2017さす農業秋穫祭」が行われました。新米や秋野菜の即売会・地元水産加工品が販売された他、芋ほり体験等も行われ、寒さの厳しい中たくさんの芋を、ホクホクした顔で持ち帰りました。

Sports Finder
スポーツファインダー

来年は全国1位になります

10月27日、神奈川県横浜市の日産スタジアムで行われた「第48回ジュニアオリンピック」に雞知中学校の俵芹奈（せりな）さん（2年）が、B女子砲丸投に出場。13m72の自己新記録で見事、全国2位に輝きました。

仲間の“絆”タスキに込めて

11月9日、諫早市の長崎県立総合運動公園周回コースで全国中学校駅伝大会長崎県予選会が行われました。女子の部（5区間12km）では、雞知中学校が41分56秒で2位に輝き、九州大会に出場しました。なお、男子の部でも雞知中学校が5位に入賞しています。

長崎県予選会区間賞

3区　冨　里衣さん（2年）6分54秒
4区　中尾 晴香さん（3年）6分49秒 区間新

長崎県予選会女子スタート時の様子